

3D Caliper 5.1

インストールガイド

iTools Software GmbH



MAIT **ma't**

目 次

1.	はじめに.....	4
2.	インストール準備.....	4
3.	インストール前の確認事項.....	4
3.1.	ライセンスファイルの準備.....	4
3.2.	ディスク空き領域の確認.....	4
3.3.	サポートプラットフォーム.....	5
4.	FLEXnet (ライセンスサーバ) のインストール.....	6
STEP1.	Welcome スクリーン.....	6
STEP2.	ライセンス契約.....	7
STEP3.	インストールディレクトリの確認.....	7
STEP4.	インストールディレクトリの指定.....	8
STEP5.	ライセンスファイルの指定.....	8
STEP6.	コンピュータ名およびポートの設定.....	9
STEP6.	FLEXlm サービスの作成とインストールの実行.....	9
STEP7.	セットアップの完了.....	10
5.	ライセンスファイルのアップデート.....	11
STEP1.	既存ライセンスのサービスの停止.....	16
STEP2.	ライセンスファイルの置き換え.....	17
STEP3.	ライセンスのサービス開始.....	17
6.	3D Caliper のインストール.....	18
STEP1.	License Agreement.....	18
STEP2.	インストールする言語の選択.....	19
STEP3.	起動時の言語の選択.....	19
STEP4.	Creo Parametric のバージョンとディレクトリの確認.....	20
STEP5.	ライセンスサーバの指定.....	20
STEP6.	インストールディレクトリの指定.....	21
STEP7.	セットアップの完了.....	21

7. 3D Caliper の実行 22

1. はじめに

本資料は、MAIT 社の 3D Caliper バージョン 5.1 をインストールする為の資料となります。

1 台の PC に異なるバージョンの Creo Parametric（以下 Creo）がインストールされている場合、3D Caliper をそれぞれのバージョン対応のインストーラを使う事で、各バージョンで利用する事が出来ます。

2. インストール準備

3D Caliper を正常に動作させるために、コンピュータ上に、事前にいくつかのソフトウェアがインストールされている必要があります。**まず、Creo の適切なバージョンがインストールされてなければなりません。**

Creo のそれぞれのバージョンには、異なる 3D Caliper のインストールパッケージがあります。3D Caliper をインストールする場合、Creo のバージョンに対応した正しいインストールパッケージを使用する必要があります。例えば、Creo 7.0 用の 3D Caliper は Creo 8.0 では動作しません（その逆も同じです）。

3D Caliper はライセンス管理ツールに FLEXnet を使用します。FLEXnet ライセンスサーバについては、3D Caliper とは別のインストールパッケージが用意されています。

FLEXnet ライセンスサーバを新規にインストールする場合は、『**4. FLEXnet (ライセンスサーバ) のインストール**』に進んでください。バージョンアップなどにより、ライセンスの入れ替えを行う場合は、『**5. ライセンスファイルのアップデート**』に進んでください。

3D Caliper は Java テクノロジーを使用します。**正常に 3D Caliper を走らせるために、1.4.1 以上の JRE (Java Runtime Environment) を必要とします。**

3D Caliper のインストールパッケージは、JRE パッケージを含んでおります。

3. インストール前の確認事項

3D Caliper の FLEXnet ライセンスサーバをインストールする前に、以下の項目を確認してください。

3.1. ライセンスファイルの準備

3D Caliper ご購入後に送付されるライセンスファイルを任意のフォルダ（例 C:\temp）に保存して下さい。

3.2. ディスク空き領域の確認

3D Caliper のインストールには、以下のハードディスクの空き領域が必要です。

マシン	空きディスク容量
Windows 10 64bit	約 230MB
Windows 11 64bit	

3.3. サポートプラットフォーム

3D Caliper のサポートプラットフォームは以下になります。

	Windows 10 64bit	Windows 11 64bit
Creo 10.0	YES 64bit のみ	YES 64bit のみ
FlexNet License Server	YES	YES

	Windows Server		
	2016	2019	2022
FLEXnet License Server 11.19.4.1	YES	YES	YES

4. FLEXnet (ライセンスサーバ) のインストール

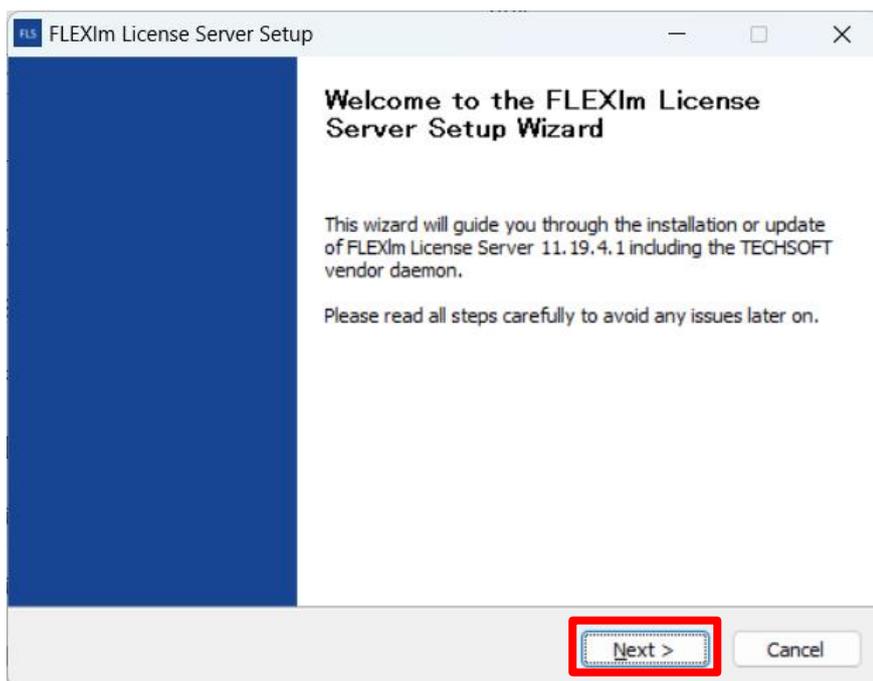
ライセンスサーバのインストールは、「TECHSOFT_FLEXIm_11.19.4.1.exe」から開始します。インストーラはプロセスを通して、ユーザーをガイドするダイアログを表示します。

それぞれのダイアログは、3つのボタンで構成されています。**Next** ボタンは、インストールウィザードの次のダイアログを表示します。現在のダイアログに対して、すべての必要な情報を入力したときにそれを使用します。**Back** ボタンを使用することで、インストールプロセスの前のダイアログに戻ることができます。**Cancel** ボタンは、インストールプロセスを中止します。

※すでにライセンスサーバ (バージョン 11.13.1.1) がインストールされている場合は、「5. FLEXnet (ライセンスサーバ) のアップデートインストール」をご参照下さい。

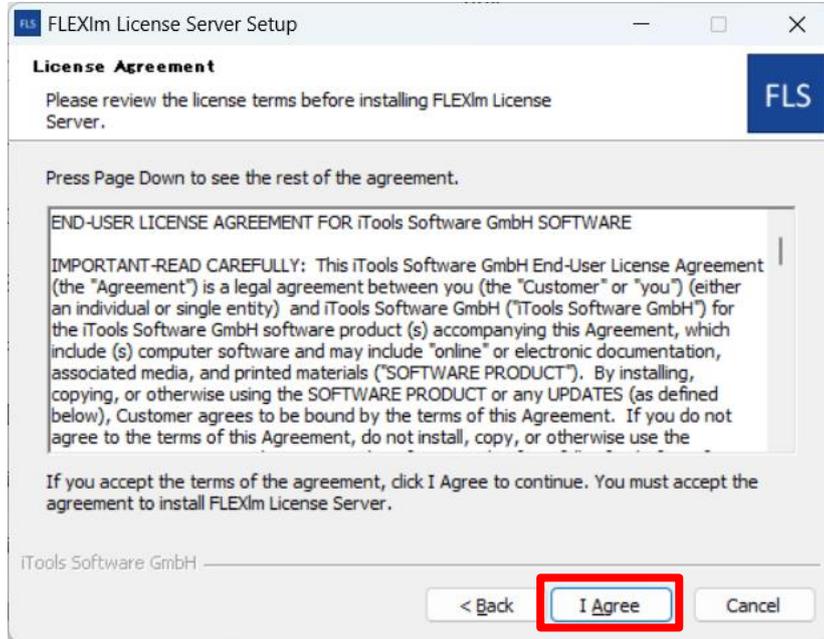
STEP1. Welcome スクリーン

最初のダイアログは Welcome スクリーンです。内容を確認し、**Next** ボタンを押して次に進んでください。



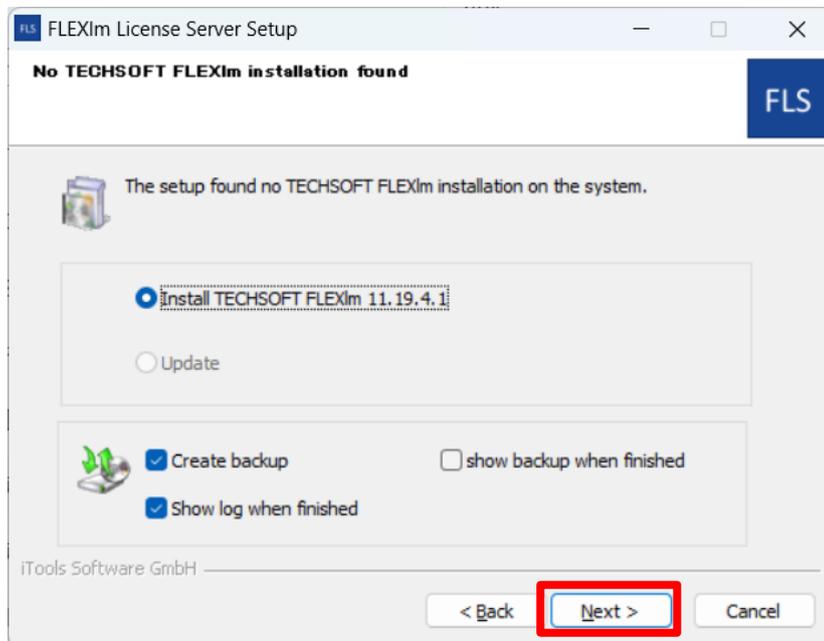
STEP2. ライセンス契約

ライセンス契約の確認画面です。契約内容をご確認の上、**I Agree** ボタンを押して次に進んでください。



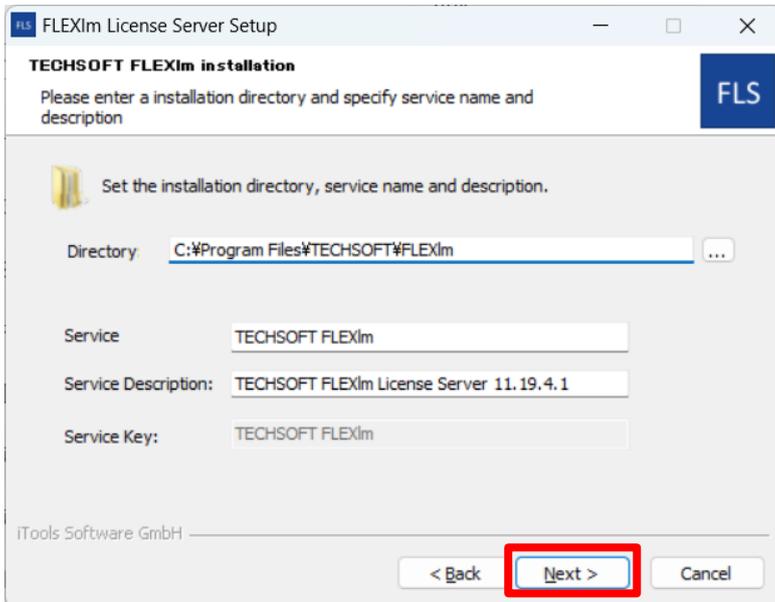
STEP3. インストールディレクトリの確認

FLEXnet の新規インストールか更新（Update）を確認します。**Next** ボタンを押して次に進んでください。



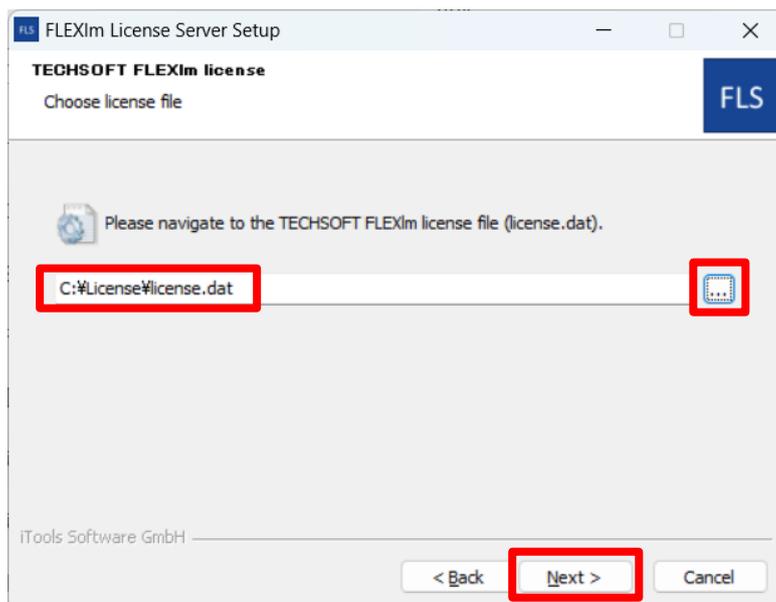
STEP4. インストールディレクトリの指定

インストール先を指定します。デフォルトは **C:¥Program Files¥TECHSOFT¥FLEXIm** に指定されます。そのままが良い場合は、**Next** ボタンを押してください。インストール先を変更する場合は **Browse** ボタンを押して、インストール先を指定後、**Next** ボタンを押して次に進んでください。



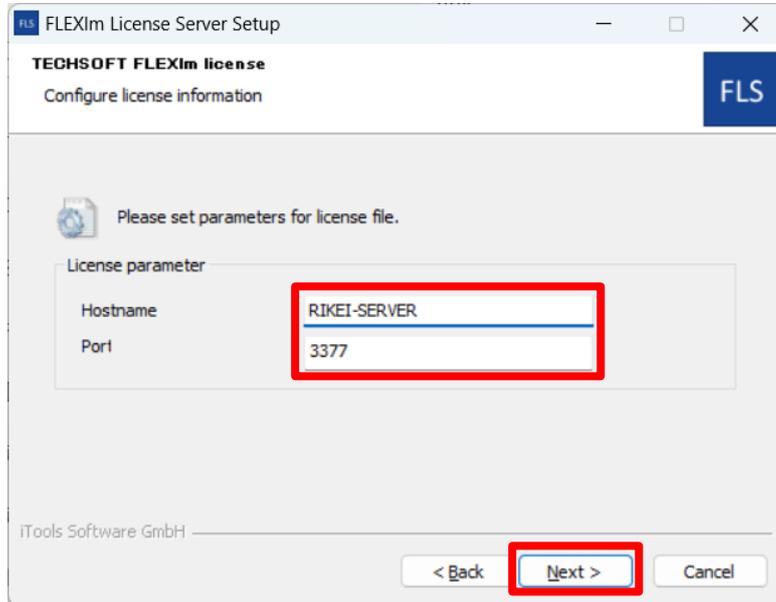
STEP5. ライセンスファイルの指定

ライセンスファイルを指定します。 アイコンを選択し、任意のフォルダ（例 C:¥License）に保存されているライセンスファイルを指定し、**Next** ボタンを押して次に進んでください。
※事前にライセンスファイルの拡張子を「.dat」に変更を行って下さい。



STEP6. コンピュータ名およびポートの設定

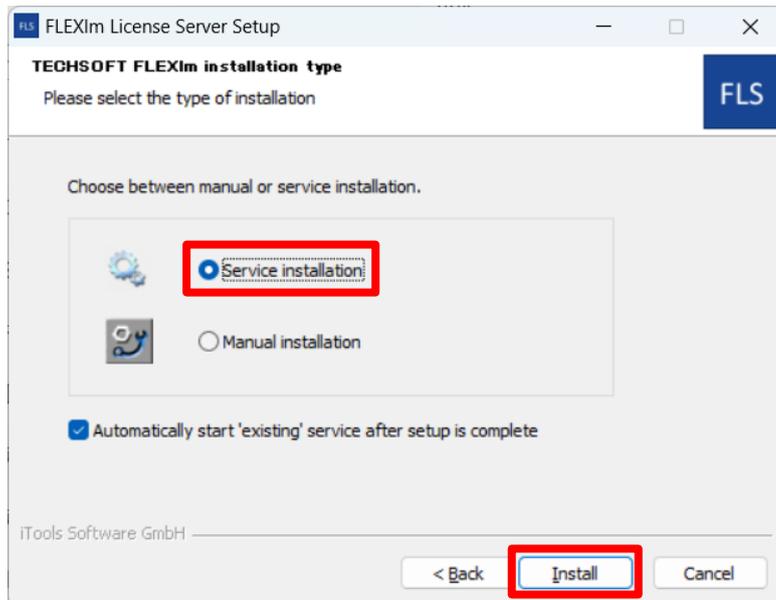
コンピュータ名とポート番号（デフォルトは **3377**）を入力します。**Next** ボタンを押して次に進んでください。



STEP7. FLEXIm サービスの作成とインストールの実行

Service installation をチェックすることにより、サービスが自動的に作成されます。（**Manual installation** にチェックした場合は手動でサービスの設定をする必要があります。）

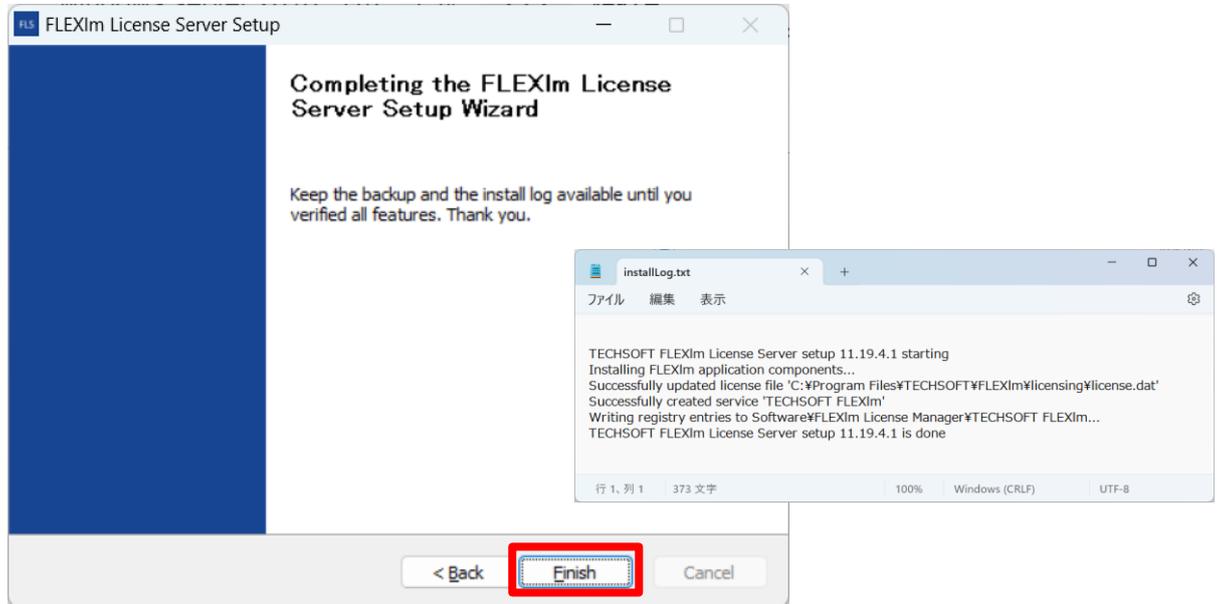
確認後、**Install** ボタンを押してインストールを実行してください。



STEP8. セットアップの完了

セットアップの完了を示す画面とインストールログが表示されます。

Finish ボタンを押してインストールを終了してください。（インストールログも閉じてください。）



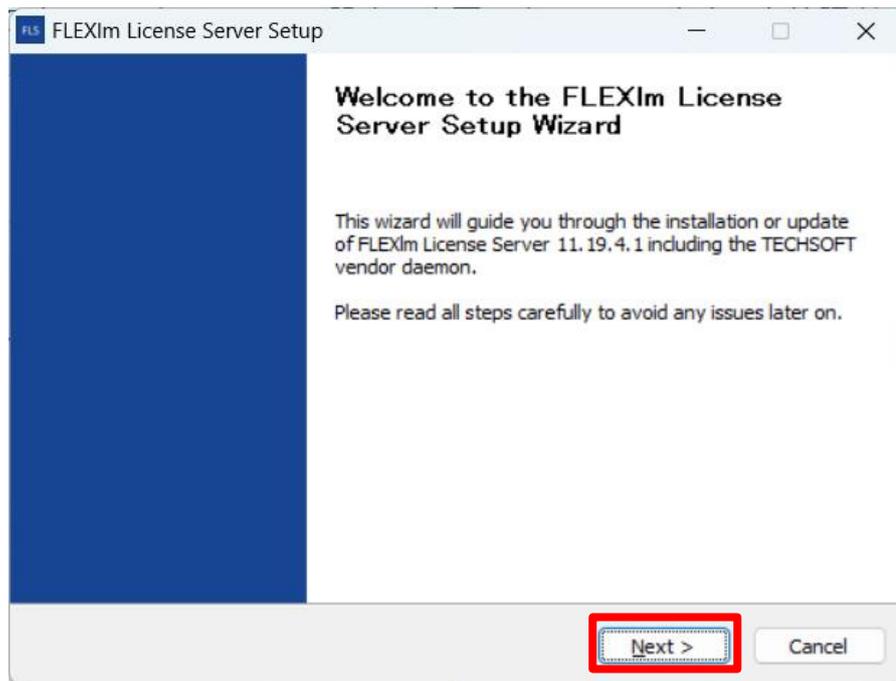
5. FLEXnet (ライセンスサーバ) のアップデートインストール

すでに旧ライセンスサーバ (バージョン 11.13.1.1) がインストールされている場合の、ライセンスサーバアップデート方法となります。

ライセンスサーバのアップデートは、「TECHSOFT_FLEXIm_11.19.4.1.exe」から開始します。

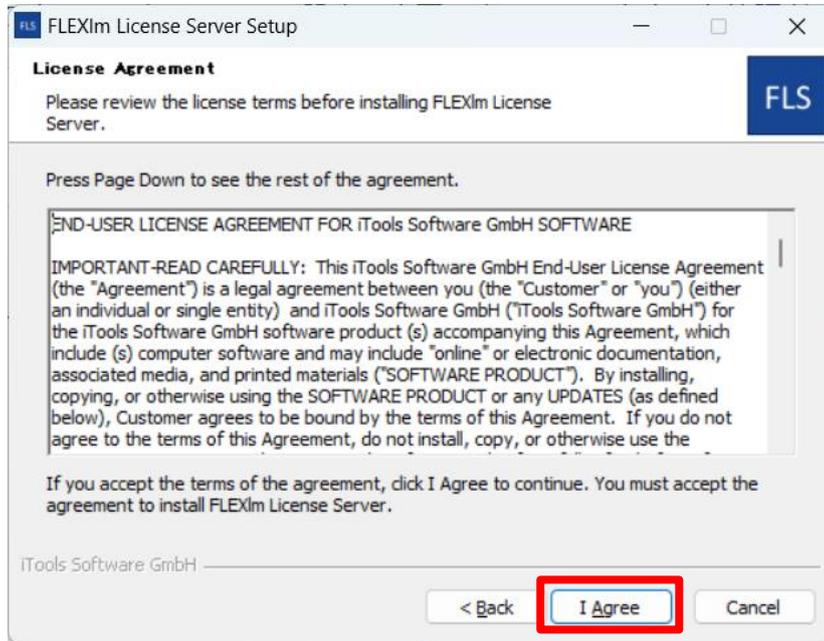
STEP1. Welcome スクリーン

最初のダイアログは Welcome スクリーンです。内容を確認し、**Next** ボタンを押して次に進んでください。



STEP2. ライセンス契約

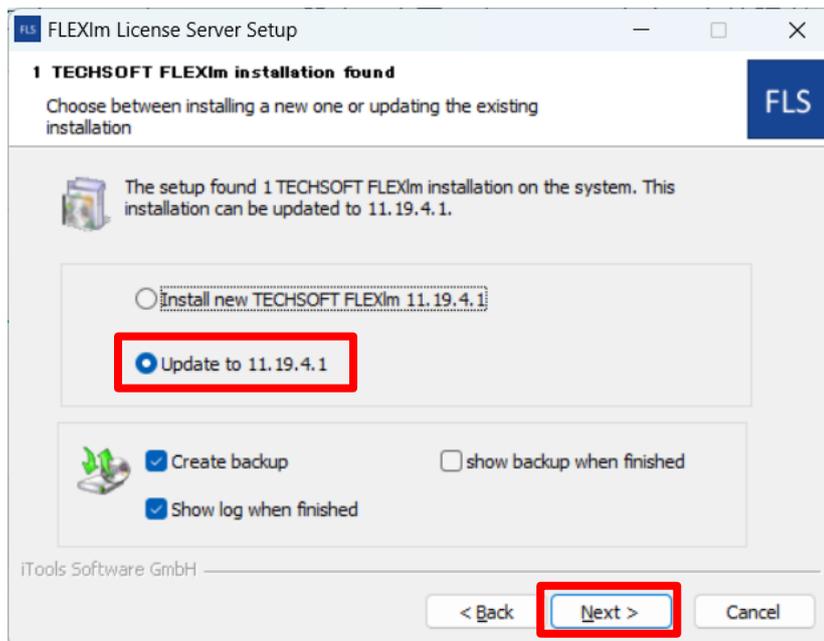
ライセンス契約の確認画面です。契約内容をご確認の上、**I Agree** ボタンを押して次に進んでください。



STEP3. インストールディレクトリの確認

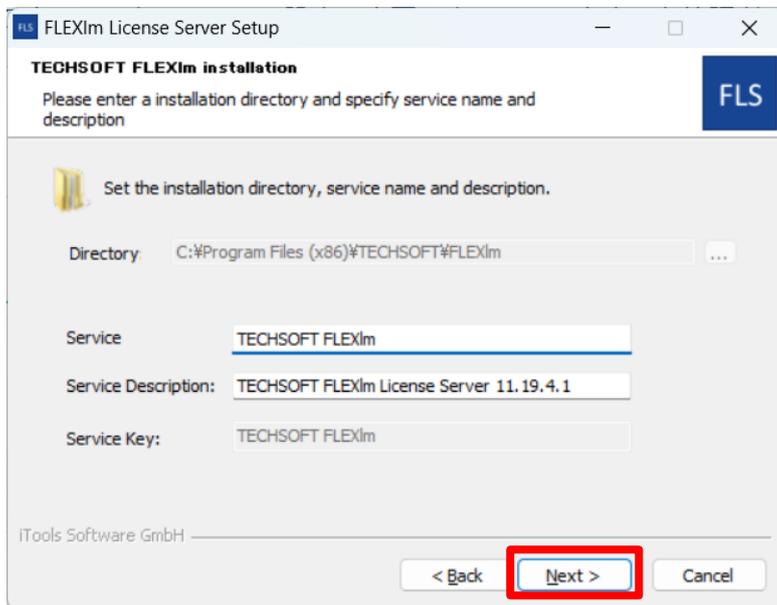
FLEXnet のインストールが更新（Update to 11.19.4.1）になっている事を確認します。

Next ボタンを押して次に進んでください。



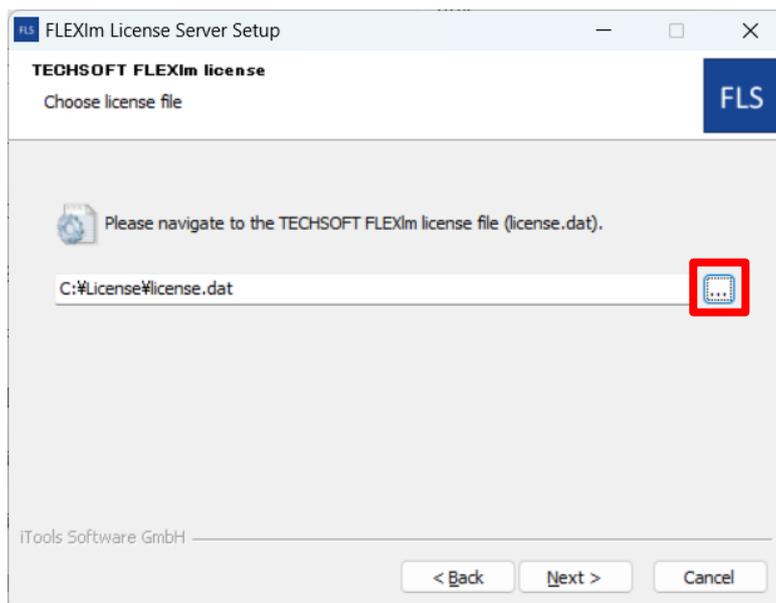
STEP4. インストールディレクトリの指定

インストール先は、既存のフォルダ（デフォルトは C:¥Program Files (x86)¥TECHSOFT¥FLEXIm）となります。**Next** ボタンを押してください。



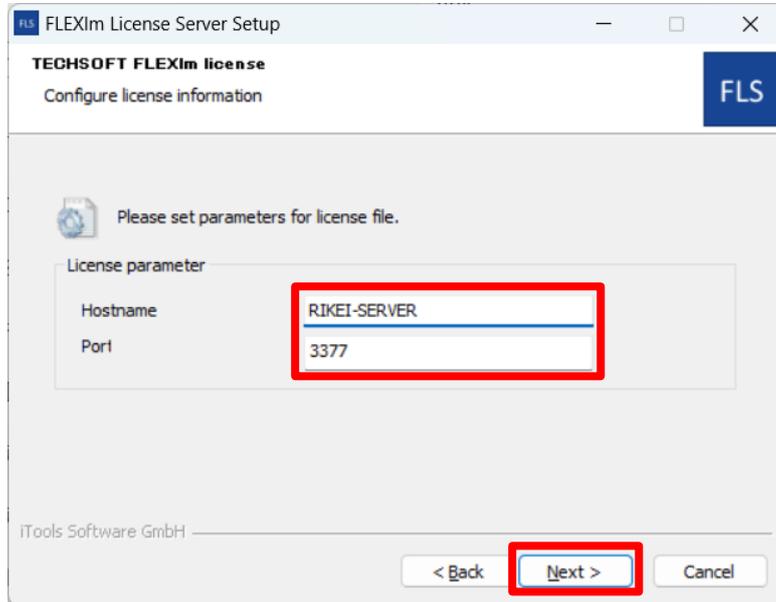
STEP5. ライセンスファイルの指定

ライセンスファイルを指定します。 アイコンを選択し、任意のフォルダ（例 C:¥License）に保存されているライセンスファイルを指定し、**Next** ボタンを押して次に進んでください。
※事前にライセンスファイルの拡張子を「.dat」に変更を行って下さい。



STEP6. コンピュータ名およびポートの設定

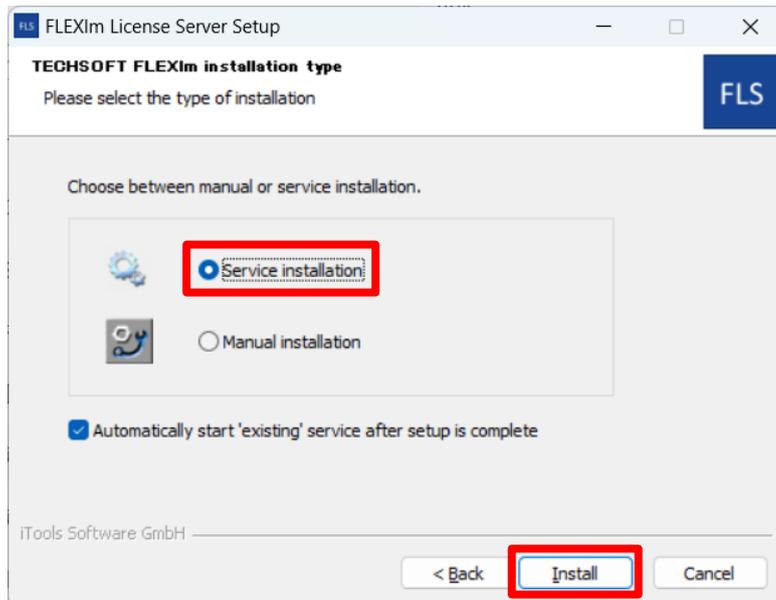
コンピュータ名とポート番号（デフォルトは **3377**）を入力します。**Next** ボタンを押して次に進んでください。



STEP7. FLEXIm サービスの作成とインストールの実行

Service installation をチェックすることにより、サービスが自動的に作成されます。（**Manual installation** にチェックした場合は手動でサービスの設定をする必要があります。）

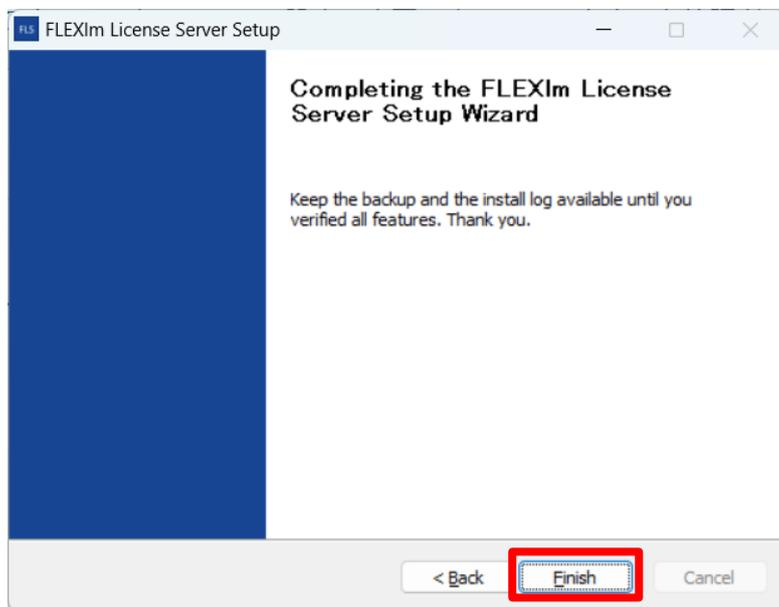
確認後、**Install** ボタンを押してインストールを実行してください。



STEP8. セットアップの完了

セットアップの完了を示す画面とインストールログが表示されます。

Finish ボタンを押してインストールを終了してください。

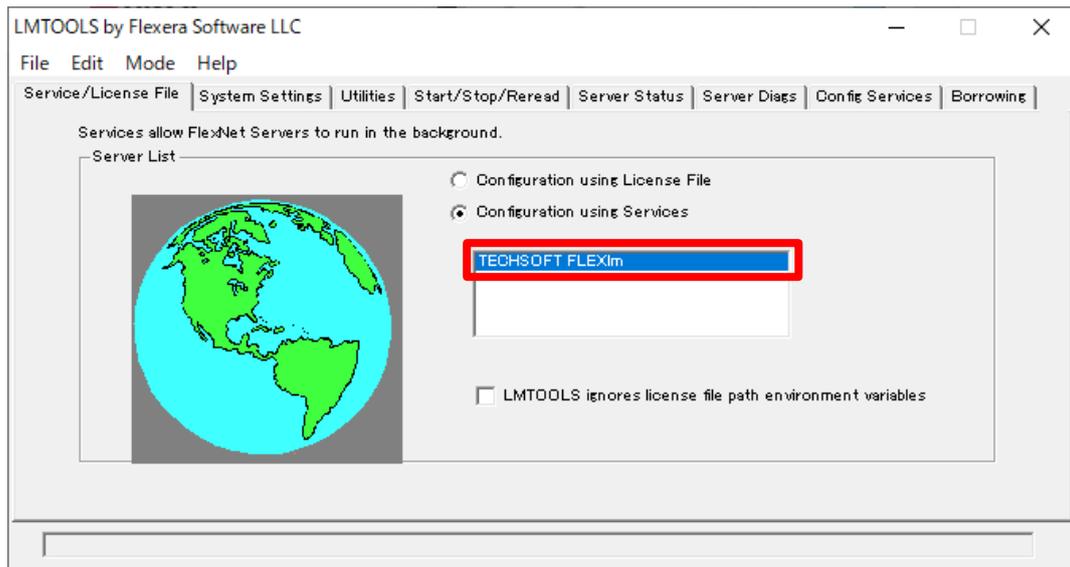


6. ライセンスファイルのアップデート

※ 既に FlexNet がインストールされ、バージョンアップなどにより、ライセンスのアップデートが必要な場合のみ

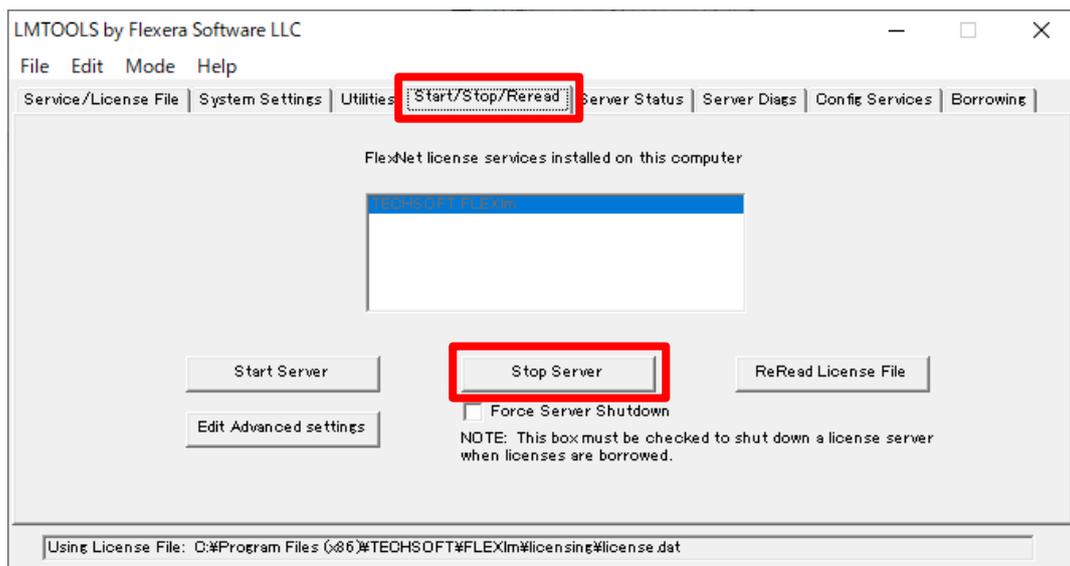
STEP1. 既存ライセンスのサービスの停止

- ① 『スタート』→『TECHSOFT』→『LMTools』から、GUI を起動します。起動時の画面から、該当するサービス（デフォルトは、TECHSOFT FLEXlm です）を選択してください。



- ② “Start/Stop/Reread”タブをクリックし、“Stop Sever”ボタンを押し、ライセンスのサービスを停止します。

※ アプリケーションを使用しているユーザーがないことに注意してください。

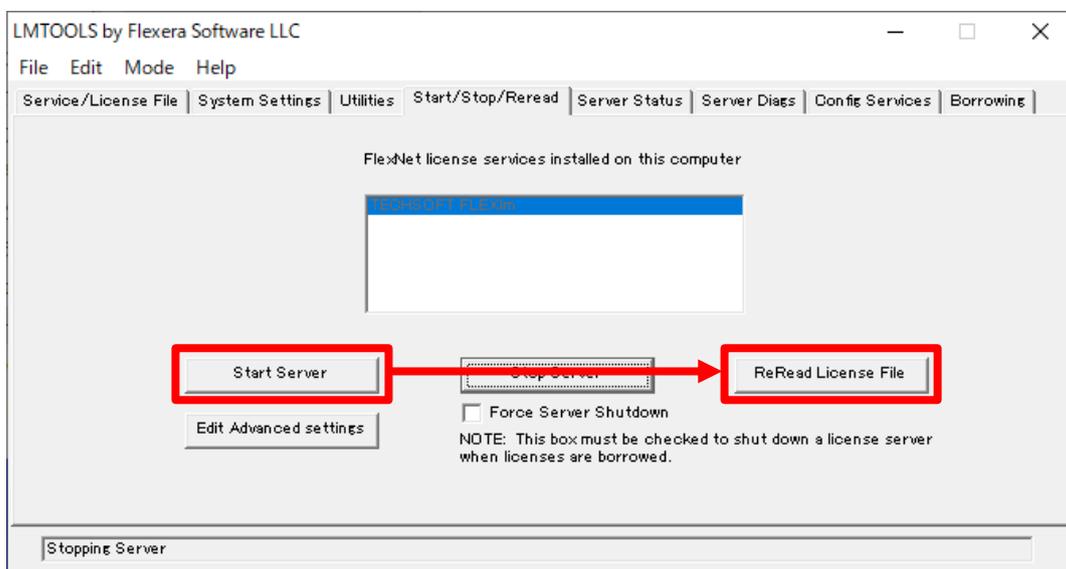


STEP2. ライセンスファイルの置き換え

\$FLEXIm_INST_DIR¥licensing ディレクトリ内 (例 C:¥Program Files (x86) ¥TECHSOFT¥FLEXIm¥licensing) に“**license.dat**”という既存のファイルが存在します。既存のファイル名を変更 (例 license.dat_20240422) に変更して頂き、新たに提供されたライセンスファイルの名前を「license.dat」にして本ディレクトリにコピーして下さい。

STEP3. ライセンスのサービス開始

STEP1 の作業を行った画面を起動し、“**Start/Stop/Reread**”タブの画面から“**Start Sever**”ボタン→“**Reread License File**”ボタンの順で、クリックします。“**Reread License File**”ボタンを押した後に、画面左下に‘**Reread Sever License File Completed**’というメッセージが表示されたら (少々時間が掛かります)、作業完了です。



‘**Reread Server Failed**’ というメッセージが表示された場合、コピーした **license.dat** ファイルをメモ帳等 (管理者で実行) で開いて頂き、**hostname** の箇所を**コンピュータ名**に変更して保存して下さい。その後“**Stop Sever**”ボタン→“**Start Sever**”ボタン→“**Reread License File**”ボタンの順でクリックします。

```
#
# License file for Rikei Corporation (Nr. 123456)
#
SERVER hostname 1A2B3C4D5E6F 3377
VENDOR TECHSOFT
FEATURE 3D CaliperProf TECHSOFT 4 70 91-Jan-9099 1 SIGN-
```



```
#
# License file for Rikei Corporation (Nr. 123456)
#
SERVER COMPUTER01 1A2B3C4D5E6F 3377
VENDOR TECHSOFT
FEATURE 3D CaliperProf TECHSOFT 4 70 91-Jan-9099 1 SIGN-
```

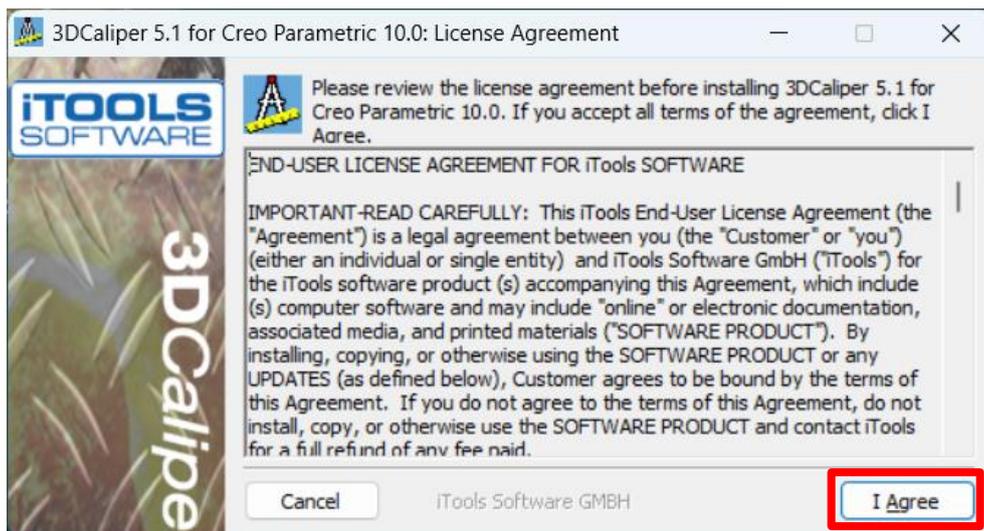
7. 3D Caliper のインストール

インストールプロセスは、「Inst_3DCaliper_5.1_Creo10_B1_○○○.exe」から開始します。（ご使用になっている Creo のバージョンにより実行するセットアップファイルは異なります。該当する Creo のバージョンのセットアップファイルを実行してください。） インストーラはプロセスを通して、ユーザーをガイドするダイアログの系列を表示します。

それぞれのダイアログは、3 つのボタンで構成されています。**Next** ボタンは、インストールウィザードの次のダイアログを表示します。現在のダイアログに対して、すべての必要な情報を入力したときにそれを使用します。**Back** ボタンを使用することで、インストールプロセスの前のダイアログに戻ることができます。**Cancel** ボタンは、インストールプロセスを中止します。

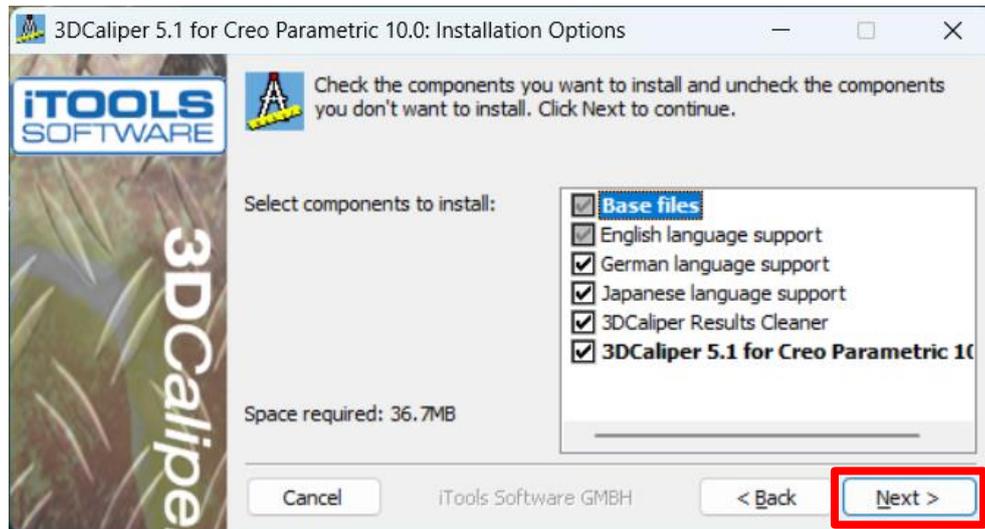
STEP1. License Agreement

インストールを継続するために、ライセンス使用許諾に基づき定められている諸条件に同意しなければなりません。これに同意しない限り、次の処理に進むことはできません。“**I Agree**”ボタンを押し、次に進んでください。



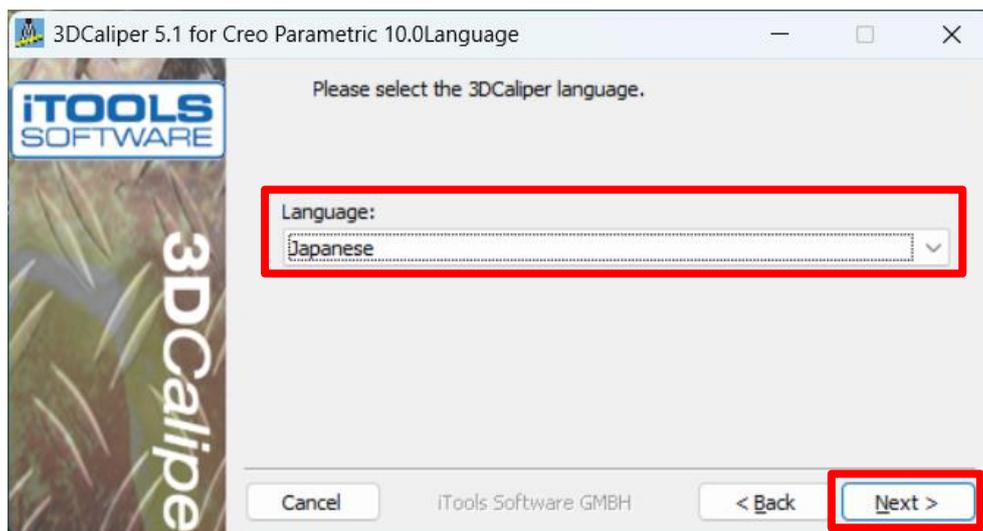
STEP2. インストールする言語の選択

インストールする言語を選択します。インストールを必要としない言語についてはチェックボックスからチェックを外してください（**ベースファイルと英語（English）のチェックを外すことはできません**）。設定後、**Next** ボタンを押してください。



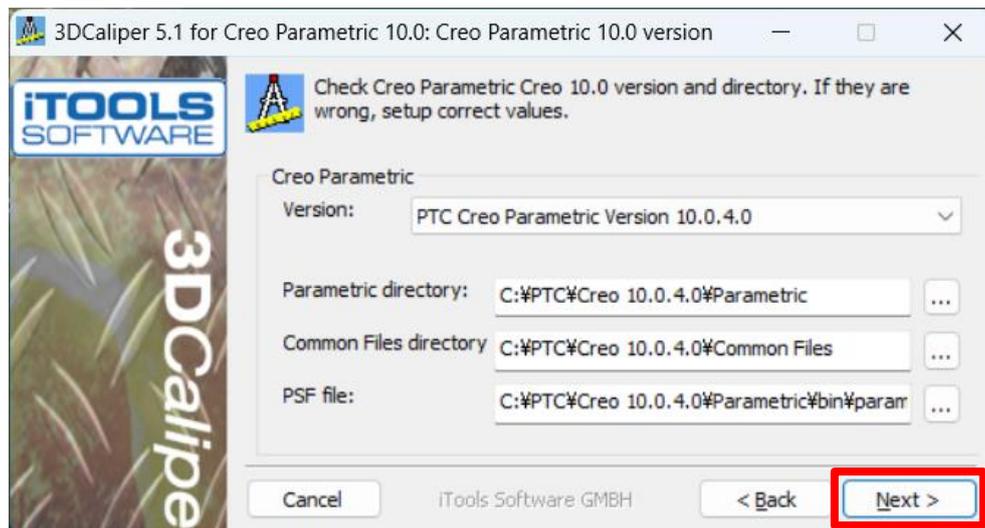
STEP3. 起動時の言語の選択

3D Caliper 起動時の言語を選択します。設定後、**Next** ボタンを押してください。



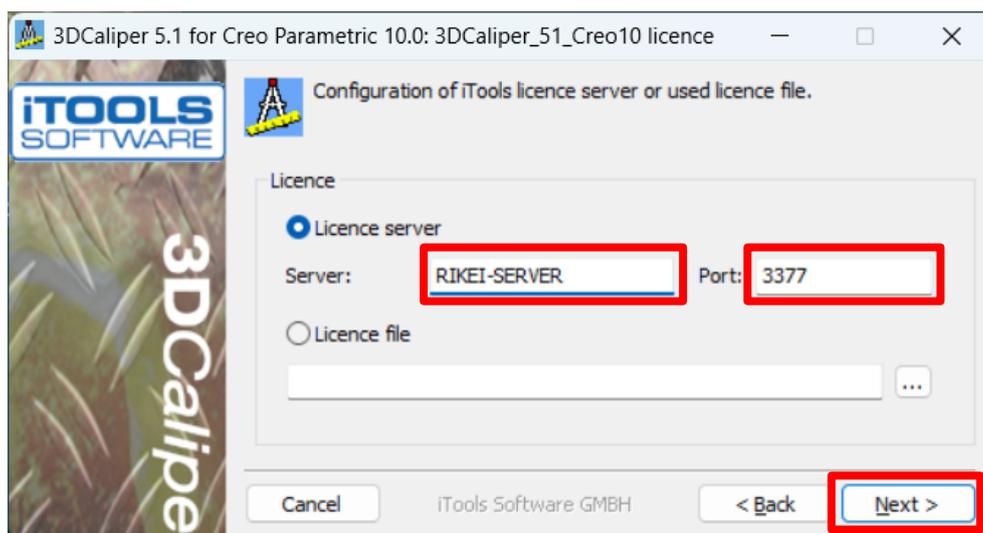
STEP4. Creo Parametric のバージョンとディレクトリの確認

ダイアログ内に表示されている Creo のバージョンとそれぞれのディレクトリが正しいかどうか確認してください。もし異なる場合は、正しい Creo Parametric のバージョンとディレクトリパスを設定し、**Next** ボタンを押してください。



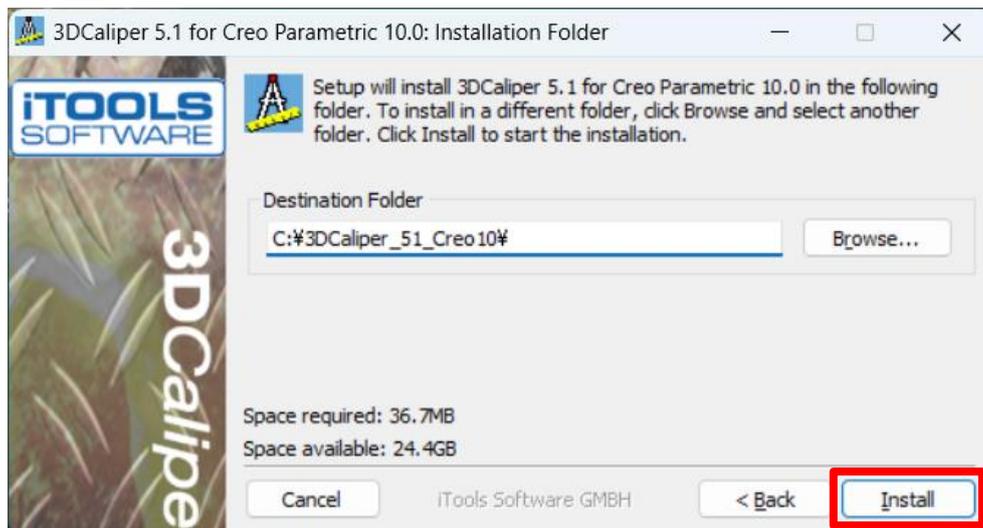
STEP5. ライセンスサーバの指定

このダイアログでは、FLEXnet ライセンスサーバのアドレス（マシン名、あるいは IP アドレス）を指定します。ポートはサーバからライセンスを取得するために使用されるコミュニケーションポート（COM ポート）です。これらの両方の値に関しては、ライセンスサーバをインストールしたシステム管理者に確認してください。



STEP6. インストールディレクトリの指定

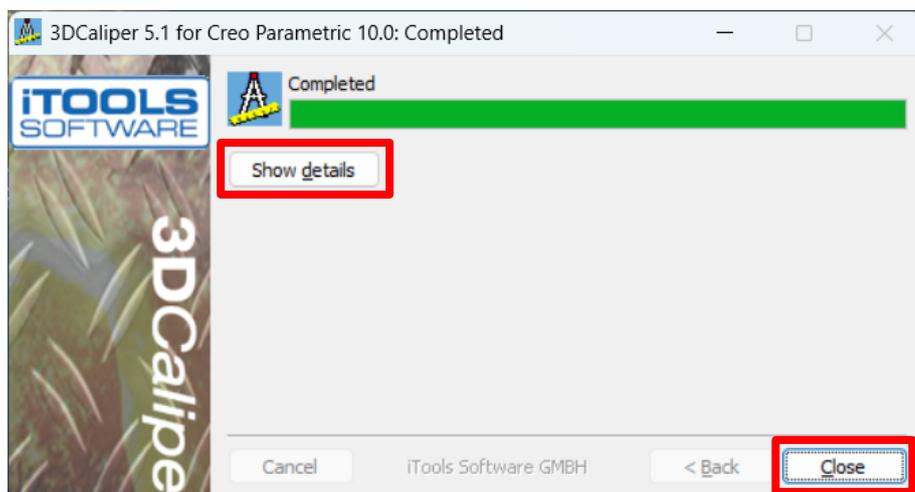
3D Caliper をインストールするディレクトリを指定してください。デフォルトの状態であれば、そのまま、**Install** ボタンを押し、異なったディレクトリにインストールする場合は、**Browse** ボタンを押し、インストール先を指定し、**Install** ボタンを押ししてください。



Note: 3D Caliper のインストール先として、インストールパスに空白を含まない状態でインストールしてください。これは Windows のいくつかの言語環境で起動したり、使用したりするときに問題を引き起こす場合があります。

STEP7. セットアップの完了

インストールの進捗状況が表示され（上図）、問題なく終了した後に、**Close**（下図） ボタンを押すことが可能になります。（インストール中に **Show_details** ボタンでインストールの詳細を見ることが可能です。）**Close** ボタンを押してインストールを終了してください。



8. 3D Caliper の実行

3D Caliper を起動する前に、Creo を起動します。

Windows 上で、3D Caliper を起動する方法として 2 つあります。1 つ目の方法は Creo を起動後、「ホーム」タブ→「ツール」→「アプリケーション」→「3D Caliper 5.1」から起動します。

2 つ目の方法としては、Creo 上でモデルを開いた後に「解析」タブ→「3D Caliper 5.1」アイコンを実行します。

